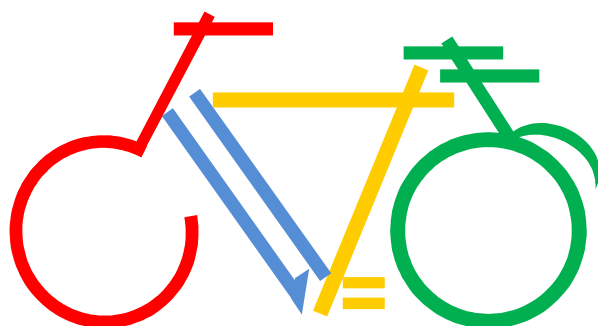


自転車等駐車場の現況・課題について



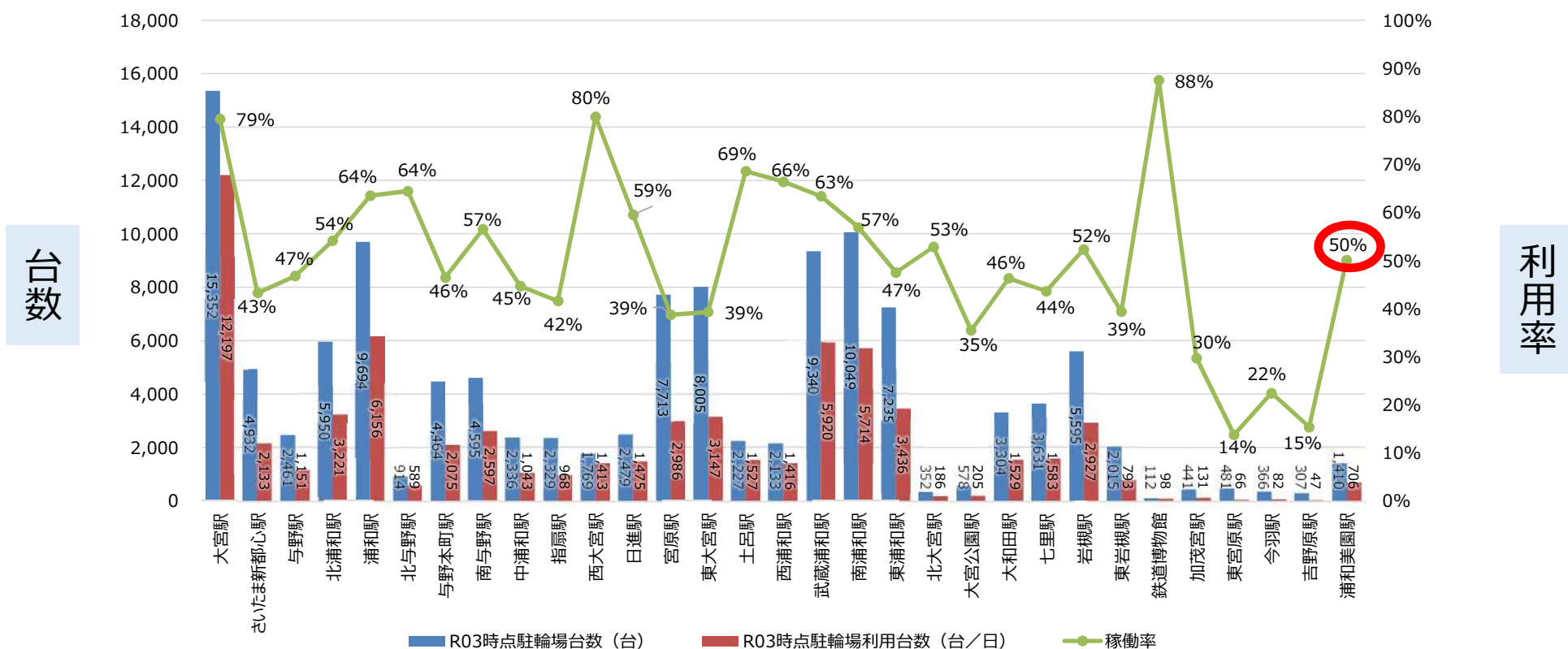
さい ……サイクル
た ……たのしむ
ま ……まもる
はー ……はしる
と ……とめる

目次

- 1 駐車対策協議会の振返り
- 2 指摘事項を踏まえた調査結果
- 3 調査方法の変更について

1 駐車対策協議会の振返り

令和4年第1回さいたま市自転車等駐車対策協議会で、市内31駅（半径500m以内）の自転車等駐車場実態調査結果（令和3年度）を説明



「令和3年度　さいたま市内自転車等駐車場実態調査結果」

1 駐車対策協議会の振返り

駐車対策協議会のご意見

- (1)浦和美園駅は、駐車マスが空いていても、定期スペースとして確保がされている場合があり、目視では空いているように見えても実際には駐輪できない箇所も存在するから定期契約状況を反映したほうがよい
- (2)定期利用を除くことが可能であれば、一時利用だけで判断するなど、分析方法を検討したほうがよい

⇒令和5年度実施 アンケート調査（定期契約）、実態調査結果から
ご意見を頂いた 浦和美園駅 の報告

目次

- 1 駐車対策協議会の振返り
- 2 指摘事項を踏まえた調査結果
- 3 調査方法の変更について

2 指摘事項を踏まえた調査結果 アンケート調査（令和5年度、令和6年度調査）

- (1)市営27施設、公営29施設、民営143施設に定期契約施設へアンケートを送付
- (2)市営27施設、公営29施設、民営76施設からアンケートを回収
- (3)全体回収率66%
- (4)令和5年11月13日（月）～ 12月15日（金）調査期間
令和6年9月2日（月）～ 9月6日（金）ヒアリング調査期間
- (5)アンケートの質問事項は、
 - ・ 定期利用者数
 - ・ 定期契約料金
 - ・ 今後5年の定期利用駐輪場の方針（拡大、縮小）など

2 指摘事項を踏まえた調査結果 アンケート調査（令和5年度調査）

(1)定期契約状況を反映するとよい

浦和美園駅 令和5年度アンケート調査結果（※1）

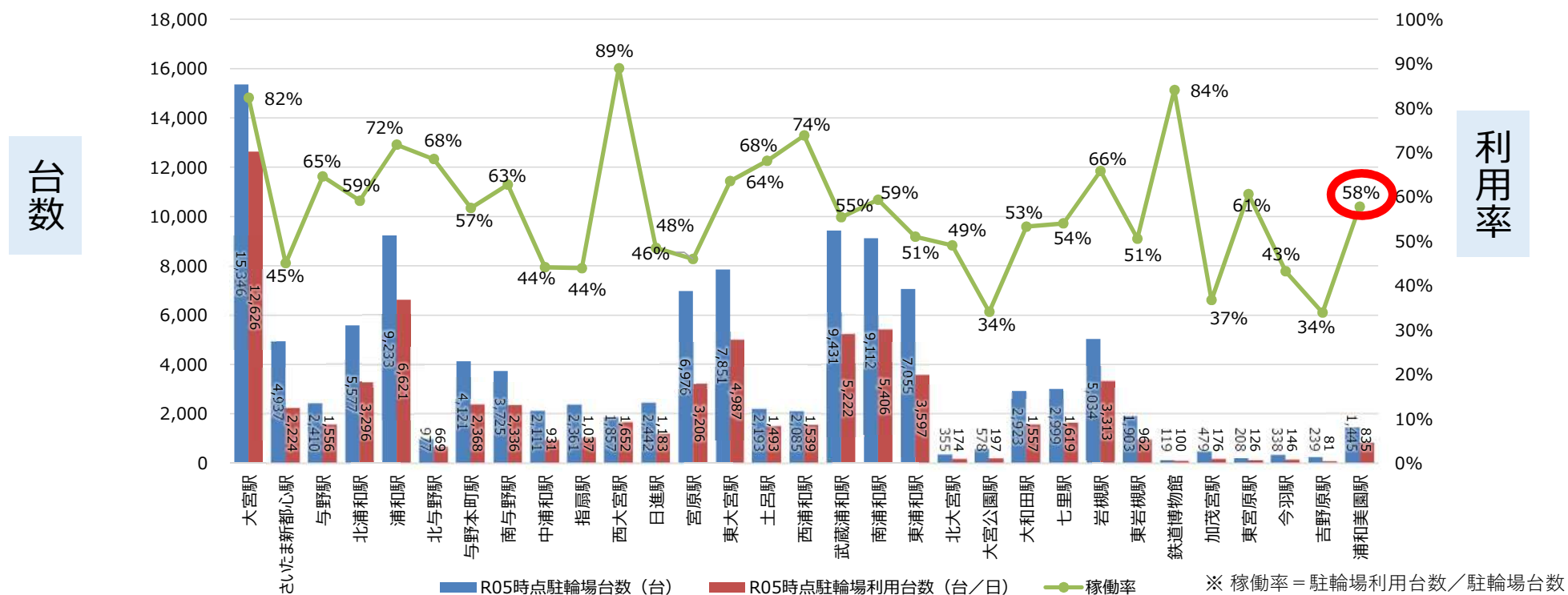
	回答施設 総施設数	市営、公営、民営 市営、公営、民営	収容台数	契約者数	定期契約率
定期	回答施設 総施設数	市0、公0、民5 市0、公0、民5	580	520	90%
一時・定期 混在（※2）	回答施設 総施設数	市0、公0、民1 市0、公0、民2	400	400	100%
全体	回答施設 総施設数	市0、公0、民6 市0、公0、民7	980	920	94%

※1 浦和美園駅のアンケート調査回答率は、86%
調査時期は2023年11月13日～12月15日
※2 一時・定期混在は、一時利用と定期利用が区別できない

2 指摘事項を踏まえた調査結果 実態調査（令和5年度調査）

- 全体としては、R3年コロナ禍とR5年アフターコロナで稼働率が回復傾向にある
- 令和5年度時点では、西大宮駅、鉄道博物館駅、大宮駅など稼働率が80%以上と高い
- 一方で、大宮公園駅、吉野原駅、加茂宮駅などは稼働率が40%未満と低い

令和5年度時点駐輪場台数合計：116,420台 令和5年駐輪場稼働台数合計：71,235台／日
→市全体の稼働率：71,235／116,420≒61.2% 調査日令和度時点5年10月2日から令和5年12月28日まで 平日晴天9時から15時



「令和5年度 さいたま市内自転車等駐車場実態調査結果」

2 指摘事項を踏まえた調査結果 実態調査（令和5年度調査）

- (1)定期契約状況を反映するとよい
- (2)定期利用を除き一時利用だけで判断する分析方法を検討したほうがよい

浦和美園駅 令和5年度実態調査結果（※1）（※2）

駐輪場 利用形態	施設数	収容台数	利用台数	利用率
一時	6 民営6	3 3 3	1 4 5	4 4 %
定期	5 民営5	5 8 0	3 4 0	5 9 %
一時・定期 混在（※3）	2 民営2	5 3 2	3 5 0	6 6 %
全体	1 3 民営1 3	1 , 4 4 5	8 3 5	5 8 %

※1 令和5年10月16日 午前9時から正午までの調査結果
※2 放置自転車台数0台を考慮すると利用率58%
※3 一時・定期混在は、一時利用と定期利用が区別できない。

2 指摘事項を踏まえた調査結果 実態調査（令和5年度調査）

- (1)定期契約状況を反映するとよい
- (2)定期利用を除き一時利用だけで判断する分析方法を検討したほうがよい

浦和美園駅 令和5年度実態調査結果に定期契約状況を反映した場合 ※1 ※2

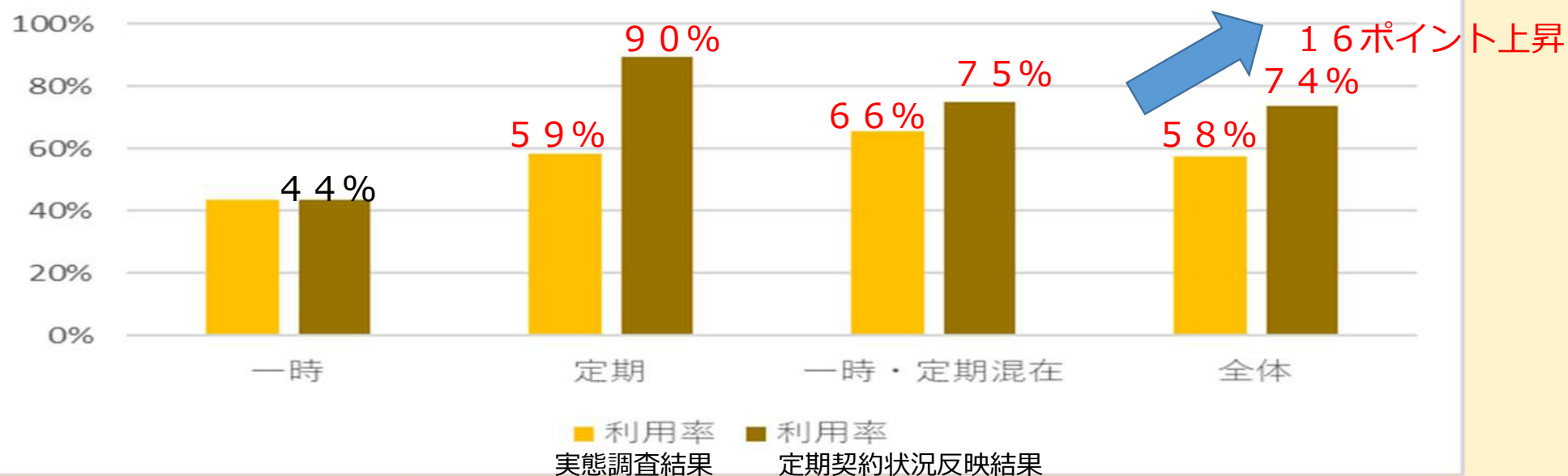
駐輪場 利用形態	施設数	収容台数	利用台数	利用率
一時	6 民営6	3 3 3	1 4 5	4 4 %
定期	5 民営5	5 8 0	5 2 0	9 0 %
一時・定期 混在 ※3	2 民営2	5 3 2	4 0 0	7 5 %
全体	1 3 民営1 3	1 , 4 4 5	1 , 0 6 5	7 4 %

※1 令和5年10月16日 午前9時から正午までの調査結果
※2 放置自転車台数0台を考慮すると利用率58%
※3 一時・定期混在は、一時利用と定期利用が区別できない。

2 指摘事項を踏まえた調査結果 実態調査（令和5年度調査）

- (1) 定期契約状況を反映するとよい
- (2) 定期利用を除き一時利用だけで判断する分析方法を検討したほうがよい

実態調査結果と定期契約状況反映結果の比較



- ・ 全体利用率は5.8%から7.4%となり、1.6ポイント上昇（アンケート調査結果を反映）

2 指摘事項を踏まえた調査結果

駐車対策協議会のご意見 対応まとめ

(1)浦和美園駅は、駐車マスが空いていても、定期スペースとして確保がされている場合があり、目視では空いているように見えても実際には駐輪できない箇所も存在するから定期契約状況を反映したほうがよい

(2)定期利用を除くことが可能であれば、一時利用だけで判断するなど、分析方法を検討したほうがよい

⇒浦和美園駅で試算した場合

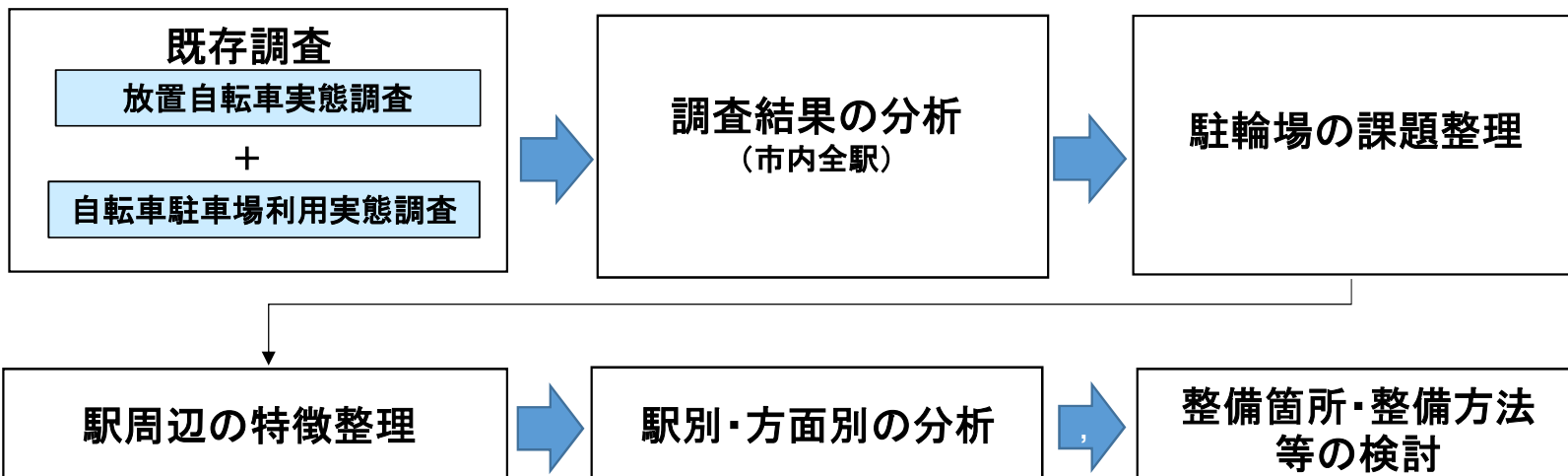
- ・利用率 74%（実態調査結果にアンケート調査結果を反映）
- ・駐車マスが空いていても駐車できない箇所が存在する（定期施設）
- ・一時定期混在は、一時利用か、定期利用か区別できない（課題）

目次

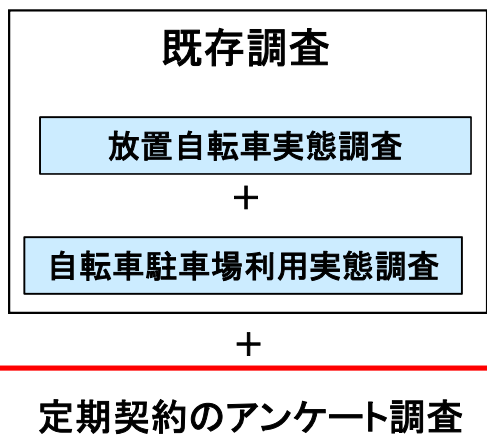
- 1 駐車対策協議会の振返り
- 2 指摘事項を踏まえた調査結果
- 3 調査方法の変更について

3 調査方法の変更について

これまでの
検討の
進め方



令和7年度
以降の
調査方法



今後の調査方法

既存調査

- 放置自転車実態調査(令和7年度実施)
- 自転車駐車場利用実態調査(令和7年度実施) に加えて、

-定期契約のアンケート調査(令和7年度実施)
を実施することで
利用実態に即した状況の把握に努める。